



なすびの花

2025年年頭にあたり 社長のご挨拶

新年、あけましておめでとうございます。

代表取締役社長 岡本 貴利です。

2024年は、製造業において、世界的なサプライチェーンの再編や、持続可能性へのシフト、AIやIoTなど、デジタル技術の急速な進化が進み、当社を取り巻く環境も、要求される仕事の内容も、変化した1年でした。

また、コロナ禍による社会的な変化は落ち着きを取り戻しつつありますが、製造業に関しては、まだまだ、コロナ禍の影響が尾を引いた1年だったかと思えます。

当社におきましては、2024年3月に、新工場への引っ越しがあり、環境が大きく変化しました。

引っ越し当初は、慣れないこともあり、少々のトラブルもありましたが、何とか安定生産を継続できたと思っております。

こちらは、ひとえに従業員の皆様のご協力あつての結果であり、感謝しております。

本当にありがとうございます。

2024年は、2拠点に分かれていた工場が、1拠点に集約し、管理面でも細やかに目が行き届くようになりました。

そして、従業員の皆様にとりましても、働きやすく、また、環境エネルギー効率にも配慮した工場となりました。

今年は、更に品質を向上させ、期初の方針として掲げております、

「**すべてのお客様に、高品質な、電子機器の製造サービスを提供する会社へ**」

を推進していきたいと考えておりますので、皆様のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

最後に、この一年が世界の人々に良い年となるよう祈念いたしましたして、新年の挨拶とさせていただきます。

皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年は、品質環境壁新聞「なすびの花」に温かいご支援を賜り、ありがとうございます。

本年も、皆さまと共に、明るい1年になりますように、刊行していききたいと思っております。

何卒よろしくお願い申し上げます。

なすびの花

昨年の振り返り

社長のご挨拶にもありますが、昨年が一番大きなできごととして、工場の移転がありました。

そのためか、昨年は駆け足で過ぎ去ったような、あっという間の1年でした。

短く思えた昨年でしたが、色々なできごともありました。

新しい環境で、思いがけないミスが起こったり、環境が変化しただけで、業務内容は同じであるのに、なぜか違うことをしてしまったりと、不思議に思えたこともありました。

年末には、お客様がお見えになり、色々なお話を交わして、私自身、長年同じ部署に仕えている間に、初心を忘れていたな…と反省する機会となりました。

長年同じ業務を行っていると、誰しも、心のどこかで、「自分は大丈夫」と思い込んでしまうことがあるのではないのでしょうか。

このような心持ちの時こそ、慎重さが肝要であるのに。

新しい年の始まりと共に、初心を思い出し、自部署の業務を見つめなおしてみようと思っております。

皆様も、1年の始まりを、初心を思い出す良い機会にされてはいかがでしょうか。